



仮設小規模電気工事の契約について

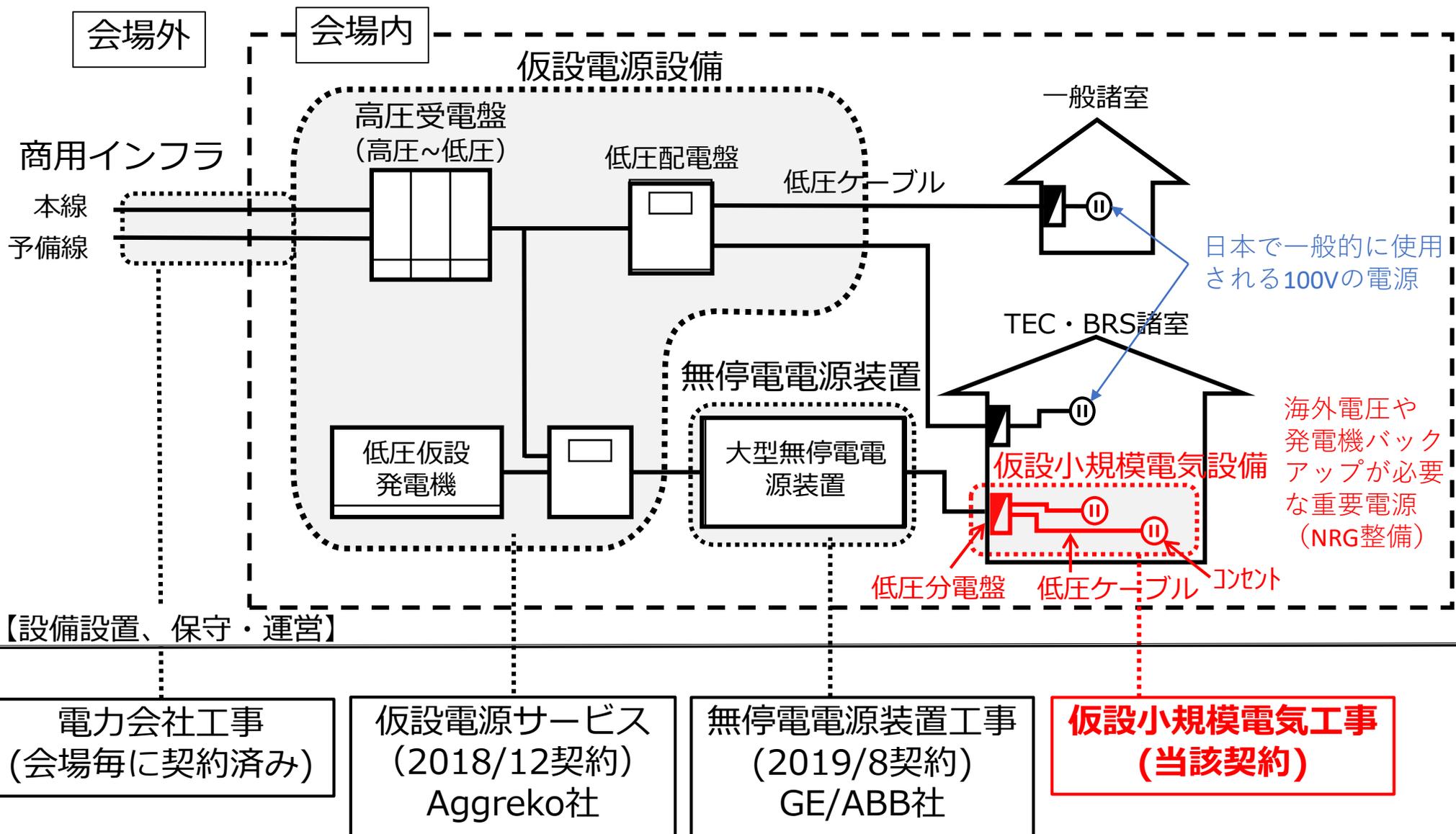
会場整備局

2021年2月10日

1 審議事項

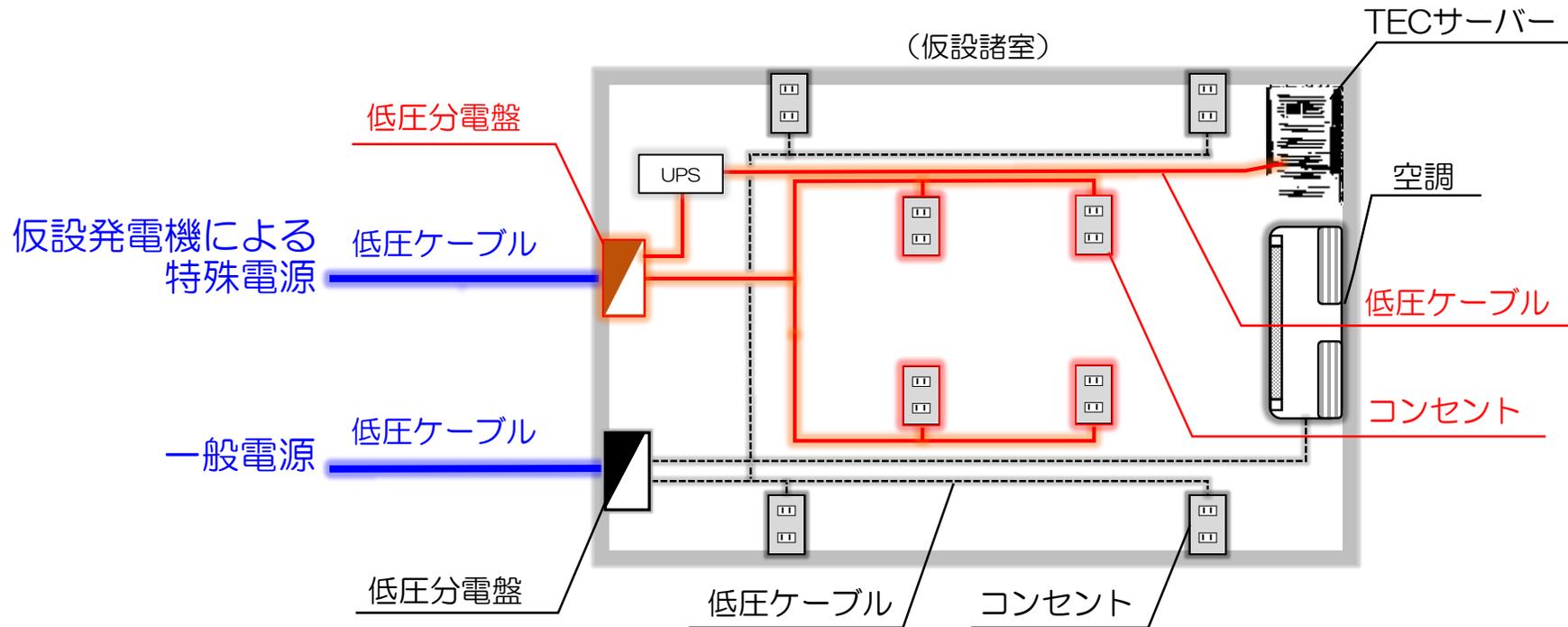
大会時に仮設電源を使用するため、仮設分電盤からコンセントまでの仮設小規模電気設備の設置・撤去及び、大会期間中の日常点検・トラブル対応等の保守・運営業務を行う、仮設小規模電気工事の工事請負契約を締結する。

2 仮設小規模電気設備の範囲



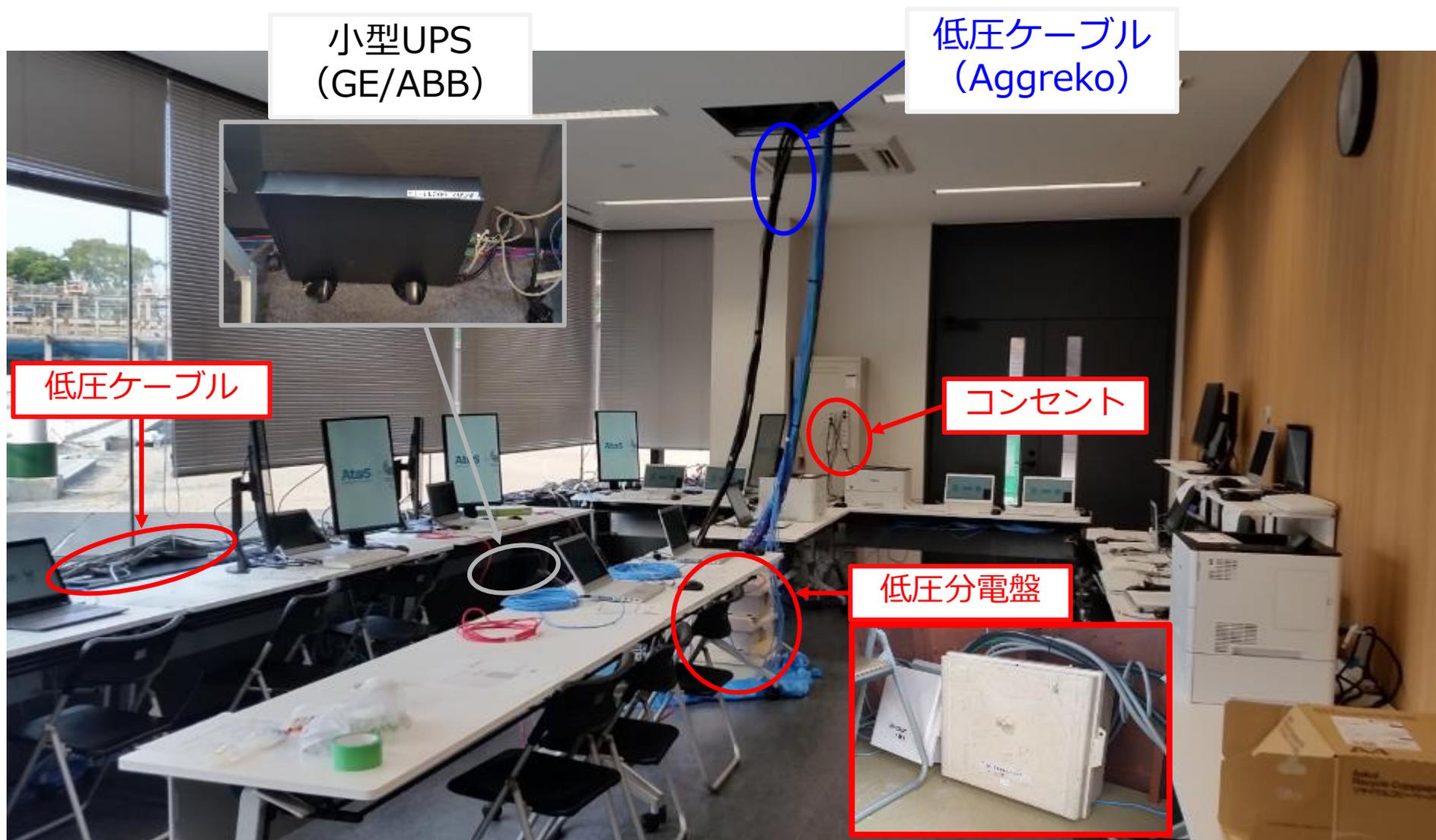
3 TEC諸室における業務範囲の詳細

VNIの用意する一般電源用コンセントとは別に、NRGにて競技・計測・放送継続のため発電機バックアップを備えた特殊電源用コンセントを整備



カラー	■	■	■
施工分担	Aggreko	VNI	仮設小規模電気工事
電源区分		一般電源	特殊電源

4 TEC(OVR)諸室での仮設小規模電気工事 施工例

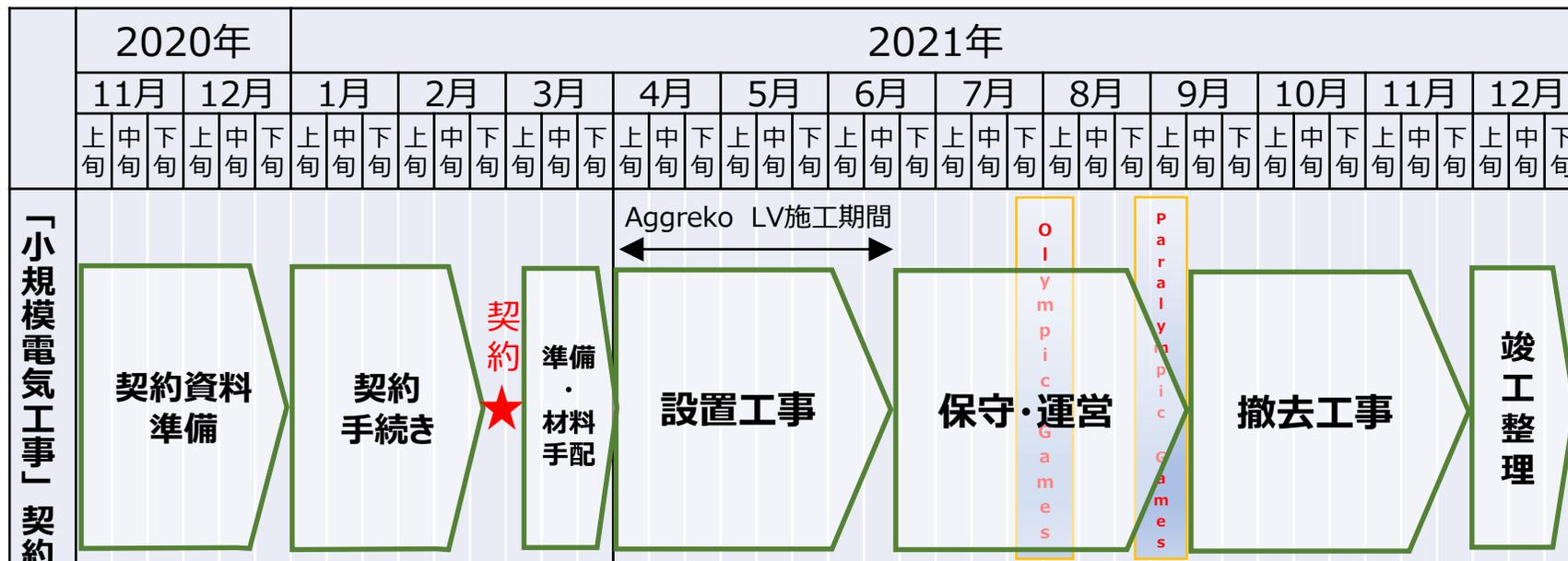


5 背景

- 大会時に諸室や機器等に電気を送るため、商用インフラ、仮設電源設備、無停電電源装置及び、低圧分電盤からコンセントまでの低圧ケーブル等の「仮設小規模電気設備」が必要になる。
- 既に商用インフラ、仮設電源設備、無停電電源装置については、電力会社やAggreko社、GE/ABB社と契約済みである。
- 大会電源整備においてテストイベント、テクノロジーリハーサル2等に向けた仮設小規模電気設備の設置を2021年3月上旬から準備する必要があるため、仮設小規模電気工事の契約を締結する。

6 本契約の内容

■ スケジュール



■ 設置、撤去工事の規模

低圧分電盤：約2千台、低圧ケーブル：約340km、小型変圧器：約7百台
資機材レンタルによる契約を予定とする。

■ 保守・運営人員の規模

各会場の工事規模により配置人員を計画。

1会場あたり平均4.6人/日（全会場での最大人員215人/日）、保守・運営期間中の総人員としては延べ約13,600[人・日]

7 予算・契約関係

① 執行見込額：V5予算内

- ・業務毎の使用材料・人工を国交省単価、東京都積算基準により積算し妥当性を確認する。（共同実施事業対象）
- ・保守・運営業務の人員については精査中。

② 予定調達方式：

契約方法は調達管理委員会にて審議

- ・本業務は大会開催直前の急な追加や変更に対し、資機材・施工者の柔軟な対応を全会場間で調整する必要があるため、受注先にて統括管理が可能となるよう1社との契約としたい。
- ・Aggreko社の仮設電源設備や海外製品の仕様を熟知し、かつ対応実績があり（ラグビーワールドカップ）、大量の資機材・資格保有者の調達が可能な唯一の相手先である「東電タウンプランニング株式会社」との特別契約としたい。

③ 予定契約期間：2021年3月初旬～2021年12月末